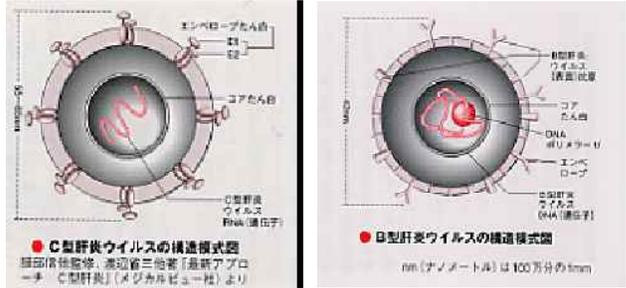


### B型肝炎、C型肝炎に 新薬登場

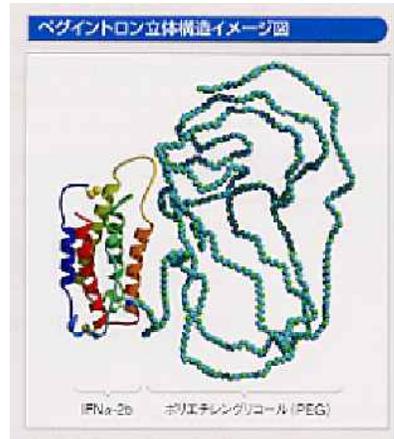
B型肝炎、C型肝炎は共に血液などを通して感染するウイルスによる肝炎で、ウイルスが肝臓にいて、次第に増殖し、感染して三十年位で症状を出し、その後肝硬変、肝癌などに進行する病気です。

輸血、不潔な注射、性交などにより感染します。また母親から出産時に感染する場合もあります。



これまで、B型肝炎、C型肝炎にインターフェロン療法が良いとされてきましたが、副作用がある割に効果が少なく30%位の人にしか効きませんでした。

最近になり、これまでのインターフェロンより効き目の長いペグインターフェロンという薬が開発されました。リバビリンという薬を併用するとC型肝炎に良く効いて副作用も少ないことが分かりました。



B型肝炎にもラミブジン、アデフォルビンという薬が使われるようになり治療の率が非常に向上しました。

またこれにペグインターフェロンを使ってゆくと肝炎から肝硬変、肝硬変から肝癌への進行を抑えることが分かりました。

これまでのインターフェロン療法は毎日注射、間をあけても三日に一回注射など治療を受けること自体かなり困難でした。それでも有効なのが30%位なので私もあまりお勧めしてはいませんでした。



ここに来て、ペグインターフェロンの登場で有効率が飛躍的に上昇したのと、注射を続けることで確実に癌化が妨げられるということで、私も積極的に治療を勧めることにしました。

治療の開始には一時的に二〜三週間入院することが必要ですが、その後は通院で治療ができます。

また一週に一度、自己注射することも認められています。この近くでも扱っている病院があります。

以前インターフェロン療法をやった効かなかった人もこの方法でやってみることができます。B型やC型の慢性肝炎から肝硬変になって、その後癌などになって亡くなる方が増加しています。

こういふ肝炎になると他の治療法ではほとんど効きません。このインターフェロン療法をやってみましょう。

お酒を飲まないのに肝臓病という人もいます。

肝臓は全体の二割位の力があれば日常生活に支障ありません。かなり重症になるまで症状は出ないことが多いです。



B型肝炎やC型肝炎は、血液検査、超音波検査などで割合簡単に分かります。

大きな手術をして輸血をした方など一度検査を受けて下さい。当院でも検査をやっております。



院長

みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

受け付けからのお願い

月初めには必ず保険証を受け付けにお出し下さい。診察券は毎回お持ち下さい。

編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。

E・メールを送って下さい。  
norikazu@okutu.jp

7月・8月の休診日

休診 日曜・祭日  
午後休診 水曜・土曜

8月6日(土)  
8月15日(月)~  
8月16日(火)  
盆休

